

# 家族で描く 白いキャンパス



緑のソファが映えるリビング、夜にはダウンライトの演出効果によって、一味違った表情を見せます。この部屋でのホームシアターがご主人の夢です。



広めのダイニングは、リビングとの間が「未定の空間」。今はお子さんの遊び場ですが、今後更変し続けます。



内装・設備すべてが「白い家」。そこには、お施主様自らが、「これから作り上げていく」という思いを込められています。家具や小物が引き立つ白いインテリアが、お子さんの成長やご夫婦の趣味に合わせて変わり続けていくことができます。そんな新しいスタイルの住まいです。

## 設計コンセプト

リフォーム後に生活を始められたお客様によると、配線整理場所として造作した収納が大活躍しているそうです。『LDKの中心にあるから、よく使う物を簡単に出し入れできてとても便利だわ』と言っていました。また、建物の構造上解体することができなかったLDKから和室への壁も、ちょうどリビングからの視線をさえ切ってくれるいい目隠しになったようです。



## お施主様:K様(瑞穂区)

冬頭さんのことは元々、妻が知っていたのですが、社長さんをはじめ、皆様の人柄の良さが決め手となり、リフォームをお願いしました。実際、担当の方には、こちらの様々な要望・理想にとっても親身になって相談に乗ってもらい、工事中的変更等にも快く対応してもらえました。自分の思いが徐々に形になっていくのはスゴク楽しかったですし、愛着を持って暮らしています。これからも家族共々、よろしくお願いします。

# 家族を待つ家

『家は夜』そんなコンセプトにこだわってみました。  
家の灯りは家族の心を和ませます。  
家から漏れる灯りは家族を暖かく迎え入れます。  
「夜を待つのが待ち遠しい」そんな家造りをしてみました。



形も色も風通しも考慮し、サッシと照明器具を効果的に配置します。



角地に面するこの家は遠くからでもすぐに存在がわかります。玄関ドアや窓から漏れる灯りが遠くからでも家族の存在を感じさせてくれます。



お施主様お気に入りの玄関アプローチ。足元からのやさしい灯りが帰りの遅いご主人様を暖かく迎え入れてくれます。

## 設計コンセプト

最初はリフォームのご相談をいただいていたのですが、費用がかかる割に基礎の耐震補強が完璧にできないことがプロの立場から気になっていました。もちろん新築するとリフォームよりも建築費はアップしますが、最近の新築住宅は耐用年数が長くなっていますので、ご家族の安全と財産価値を考慮しながらじっくりとご相談させていただいた結果、新築を選択しました。廊下スペースなどを極力減らして収納スペースを多くした設計プランは、自信を持ってご提案させていただきました。



## お施主様:K様(瑞穂区)



故郷の名古屋に転勤が決まったことをきっかけに、『家を持つ』と考えました。ちょうど都合よく実家の離れが空いていたので、そこをリフォームしようとする業者さんへ相談をしていました。

しかし、その業者さんからは何の返答もないままに数ヶ月が経った頃、近所で冬頭建設の新築現場見学会があり、そこで初めて冬頭さんとお会いしました。初めは軽い気持ちで見に行っただけですが、冬頭さんのとても親切な対応と、的確なアドバイスに好感を持ち、お願いすることになりました。計画当初はリフォームを考えていましたが、同時に新築との比較の金額も出していただきました。検討の結果、新築でお願いすることになりました。今思うと、リフォームと新築とを両方一緒に相談できたので、本当に良かったと思います。工事中も担当の方を始め、社長さん、職人さん、本当に皆さん良い方たちばかりで、とても楽しく家造りができたと思います。大変満足しております。中でも、私の一番のお気に入り、玄関アプローチを主体とした冬頭建設さんお薦めの外構ですね。遊びに来た友達にもいつも褒めてもらっていますし、最高のものを造っていただき、本当に感謝しております。これからも、我が家と家族をいつまでもよろしくお願いします。